

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	北海道歯科衛生士専門学校
設置者名	岸野 雅方

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数 又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	歯科衛生士学科 (昼間部)	夜・通信	29 単位 (675 単位時間)	9 単位 (240 単位時間)	
	歯科衛生士学科 (夜間部)	夜・通信	22 単位 (570 単位時間)	6 単位 (135 単位時間)	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ： http://www.hokkaido-shikaeiseishi.ac.jp/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	北海道歯科衛生士専門学校
設置者名	岸野 雅方

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ：<http://www.hokkaido-shikaeiseishi.ac.jp/disclosure/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	学校法人 福寿会 理事	2021.4～ 2023.3	学生募集・広報
非常勤	学校法人 平成医療学園 理事	2021.5～ 2023.3	学校運営
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	北海道歯科衛生士専門学校
設置者名	岸野 雅方

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
※毎年度シラバスを作成し、年度当初に学生に印刷物を配布している。	
☆シラバスの内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業科目名・対象学年・開講期・単位数・時間数・担当教員名 ・ 授業科目概要・目的・学習目標・成績評価方法・教材・留意事項 ・ 授業計画 (1回の授業ごとの内容) 	
☆シラバスの作成プロセス	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業担当教員ごとにシラバスの作成を依頼 ・ 教務で取りまとめ、点検後に印刷・製本 ・ 年度当初に印刷物を学生に配布 	
授業計画書の公表方法	http://www.hokkaido-shikaeiseishi.ac.jp/disclosure/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
※以下の指標を基に、すべての授業科目について適切に評価している。	
※評価方法等については学生便覧に明示するとともに、年度当初に実施するオリエンテーションで詳しく説明している。	
☆出席について	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義、実習については 2/3 以上の出席が必要 ・ 臨地・臨床実習については 4/5 以上の出席が必要 ・ 遅刻：昼間部においては授業開始後 30 分以内、夜間部においては 15 分以内に入室した場合は遅刻 (その後は欠席) ・ 早退：昼間部においては授業終了前 30 分以内、夜間部においては 15 分以内に退室した場合は早退 (それ以前は欠席) ・ 遅刻・早退は 3 回で欠席 1 回とする 	

☆講義および実習における合格基準

- ・筆記試験の成績、出席状況、受講態度等を総合的に評価する。
- ・五段階評価：「秀」（90点以上）、「優」（80点以上89点以下）、「良」（70点以上79点以下）、「可」（60点以上69点以下）および「不可」（59点以下）
- ・「秀」、「優」、「良」及び「可」を合格とし、「不可」を不合格とする。

☆追試験

- ・やむを得ない理由で定期試験等を受験できなかったと認定された場合には、追試験を受験することができる。
- ・追試験の満点は100点とする。

☆再試験

- ・定期試験に不合格であった者、あるいはやむを得ないとは認められない理由で定期試験を受験しなかった者について行う試験
- ・再試験の満点は60点とする。

☆臨地・臨床実習における合格基準

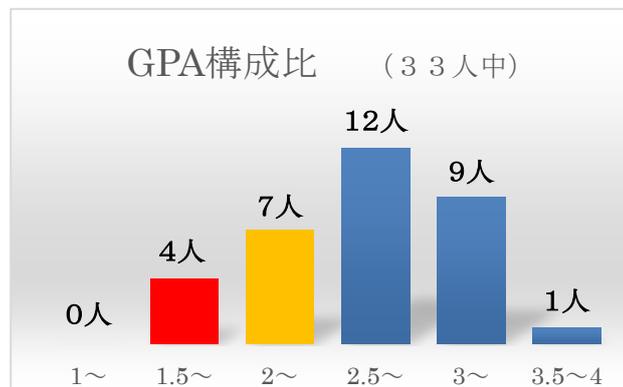
- ・臨地・臨床実習先の指導者による評価、提出したレポート、出席状況等を総合的に評価する。
- ・五段階評価：「秀」（90点以上）、「優」（80点以上89点以下）、「良」（70点以上79点以下）、「可」（60点以上69点以下）および「不可」（59点以下）
- ・「秀」、「優」、「良」及び「可」を合格とし、「不可」を不合格とする。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

※以下により GPA を算出して成績管理と学習指導を行っている。

成績評価		G P
90点以上	秀	4
80～89点	優	3
70～79点	良	2
60～69点	可	1
不可・不履修		0



GPAによる成績分布の例

<p>☆成績評価の通知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生本人に、年度末に当該年度における成績及び主席状況について評価表を作成して通知している。 <p>☆学生指導への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半期ごとに GPA を算出し、GPA が 2.5 未満の学生に対してはクラス担任による個別面談を、また 2.0 未満の学生に対してはクラス担任と教務主任による個別面談、個別指導を実施している。 	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.hokkaido-shikaeiseishi.ac.jp/disclosure/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>※当該学年に開講されるすべての授業科目に合格した者について進級を認める。(選択必修分野については3年間で7単位以上)</p> <p>※以下の各分野における授業科目をすべて履修し、単位を修得した者について卒業を認める。(選択必修分野については3年間で7単位以上)</p>	
<p>☆昼間部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎分野 11 単位 (165 単位時間) ・専門基礎分野 24 単位 (360 単位時間) ・専門分野 66 単位 (2, 130 単位時間) ・選択必修分野 7 単位 (105 単位時間) 計 108 単位 (2, 760 単位時間) <p>☆夜間部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎分野 10 単位 (155 単位時間) ・専門基礎分野 22 単位 (330 単位時間) ・専門分野 55 単位 (1, 690 単位時間) ・選択必修分野 7 単位 (105 単位時間) 計 94 単位 (2, 280 単位時間) 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	http://www.hokkaido-shikaeiseishi.ac.jp/disclosure/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	北海道歯科衛生士専門学校
設置者名	岸野 雅方

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.hokkaido-shikaeiseishi.ac.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	http://www.hokkaido-shikaeiseishi.ac.jp/disclosure/
財産目録	http://www.hokkaido-shikaeiseishi.ac.jp/disclosure/
事業報告書	http://www.hokkaido-shikaeiseishi.ac.jp/disclosure/
監事による監査報告（書）	http://www.hokkaido-shikaeiseishi.ac.jp/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

(1) 昼間部

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	歯科衛生士学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2760 単位時間 108 単位	1395 単位時間	0	1425 単位時間	0	0
			77 単位		35 単位		
2820 単位時間 / 112 単位							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150 人		117 人	0 人	8 人	33 人	41 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>※毎年度シラバスを作成し、年度当初に学生に印刷物を配布している。</p> <p>☆シラバスの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目名・対象学年・開講期・単位数・時間数・担当教員名 ・授業科目概要・目的・学習目標・成績評価方法・教材・留意事項 ・授業計画（1回の授業ごとの内容） <p>☆シラバスの作成プロセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業担当教員ごとにシラバスの作成を依頼 ・教務で取りまとめ、点検後に印刷・製本 ・年度当初に印刷物を学生に配布

成績評価の基準・方法

(概要)

※以下の指標を基に、すべての授業科目について適切に評価している。

成績評価		G P
90 点以上	秀	4
80～89 点	優	3
70～79 点	良	2
60～69 点	可	1
不可・不履修		0

※評価方法等については学生便覧に明示するとともに、年度当初に実施するオリエンテーションで詳しく説明している。

☆出席について

- ・講義、実習については 2/3 以上の出席が必要
- ・臨地・臨床実習については 4/5 以上の出席が必要
- ・遅刻：昼間部においては授業開始後 30 分以内、夜間部においては 15 分以内に入室した場合は遅刻（その

後は欠席）

- ・早退：昼間部においては授業終了前 30 分以内、夜間部においては 15 分以内に退室した場合は早退（それ以前は欠席）
- ・遅刻・早退は 3 回で欠席 1 回とする

☆講義および実習における合格基準

- ・筆記試験の成績、出席状況、受講態度等を総合的に評価する。
- ・五段階評価：「秀」（90 点以上）、「優」（80 点以上 89 点以下）、「良」（70 点以上 79 点以下）、「可」（60 点以上 69 点以下）および「不可」（59 点以下）
- ・「秀」、「優」、「良」及び「可」を合格とし、「不可」を不合格とする。

☆追試験

- ・やむを得ない理由で定期試験等を受験できなかったと認定された場合には、追試験を受験することができる。
- ・追試験の満点は 100 点とする。

☆再試験

- ・定期試験に不合格であった者、あるいはやむを得ないとは認められない理由で定期試験を受験しなかった者について行う試験
- ・再試験の満点は 60 点とする。

☆臨地・臨床実習における合格基準

- ・臨地・臨床実習先の指導者による評価、提出したレポート、出席状況等を総合的に評価する。
- ・五段階評価：「秀」（90 点以上）、「優」（80 点以上 89 点以下）、「良」（70 点以上 79 点以下）、「可」（60 点以上 69 点以下）および「不可」（59 点以下）
- ・「秀」、「優」、「良」及び「可」を合格とし、「不可」を不合格とする。

※以下により GPA を算出して成績管理と学習指導を行っている。



GPA による成績分布の例

<p>☆成績評価の通知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生本人に、年度末に当該年度における成績及び主席状況について評価表を作成して通知している。 <p>☆学生指導への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半期ごとに GPA を算出し、GPA が 2.5 未満の学生に対してはクラス担任による個別面談を、また 2.0 未満の学生に対してはクラス担任と教務主任による個別面談、個別指導を実施している。
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>択必修分野については3年間で7単位以上)</p> <p>※以下の各分野における授業科目をすべて履修し、単位を修得した者について卒業を認める。(選択必修分野については3年間で7単位以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎分野 11 単位 (165 単位時間) ・専門基礎分野 24 単位 (360 単位時間) ・専門分野 66 単位 (2, 130 単位時間) ・選択必修分野 7 単位 (105 単位時間) 計 108 単位 (2, 760 単位時間)
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>※家計困窮者に対する奨学金制度</p> <p>※ひとり親家庭(親又は子)に対する奨学金制度</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
32 人 (100%)	0 人 (0%)	31 人 (96.9%)	1 人 (3.1%)
(主な就職、業界等)			
・ 歯科医院			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 求人票の見方、履歴書の書き方、面接等の指導 ・ 一般的な社会人マナーの講義 ・ 就職説明会 			
(主な学修成果(資格・検定等))			
・ 歯科衛生士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
99 人	5 人	5.1%
(中途退学の主な理由) ・進路変更、家庭の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・学生の状況を担任が定期的に確認し、教員全体で情報を共有の上、複数の教員にて対応している。 ・学生との面談や保護者への連絡等をこまめに行っている。 ・面談等の学生への対応内容はその都度学生対応記録帳に記録し、学生状況及び指導の結果は学校内の会議にて報告・共有している。		

(2) 夜間部

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	歯科衛生士学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	2280 単位時間 94 単位	870 単位時間	0	1410 単位時間	0	0
			58 単位		36 単位		
2280 単位時間 / 94 単位							
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
110 人		51 人	0 人	5 人	24 人	29 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>※毎年度シラバスを作成し、年度当初に学生に印刷物を配布している。</p> <p>☆シラバスの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目名・対象学年・開講期・単位数・時間数・担当教員名 ・授業科目概要・目的・学習目標・成績評価方法・教材・留意事項 ・授業計画 (1回の授業ごとの内容) <p>☆シラバスの作成プロセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業担当教員ごとにシラバスの作成を依頼 ・教務で取りまとめ、点検後に印刷・製本 ・年度当初に印刷物を学生に配布
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>※以下の指標を基に、すべての授業科目について適切に評価している。</p> <p>※評価方法等については学生便覧に明示するとともに、年度当初に実施するオリエンテーションで詳しく説明している。</p> <p>☆出席について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義、実習については2/3以上の出席が必要 ・臨地・臨床実習については4/5以上の出席が必要 ・遅刻：昼間部においては授業開始後30分以内、夜間部においては15分以内に入室した場合は遅刻(その後は欠席) ・早退：昼間部においては授業終了前30分以内、夜間部においては15分以内に退室した場合は早退(それ以前は欠席) ・遅刻・早退は3回で欠席1回とする <p>☆講義および実習における合格基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験の成績、出席状況、受講態度等を総合的に評価する。 ・五段階評価：「秀」(90点以上)、「優」(80点以上89点以下)、「良」(70点以上79点以下)、「可」(60点以上69点以下)および「不可」(59点以下) ・「秀」、「優」、「良」及び「可」を合格とし、「不可」を不合格とする。

☆追試験

- ・やむを得ない理由で定期試験等を受験できなかったと認定された場合には、追試験を受験することができる。

成績評価		G P
90 点以上	秀	4
80～89 点	優	3
70～79 点	良	2
60～69 点	可	1
不可・不履修		0

- ・追試験の満点は 100 点とする。

☆再試験

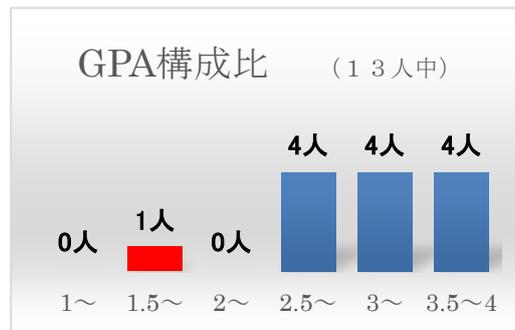
- ・定期試験に不合格であった者、あるいはやむを得ないとは認められない理由で定期試験を受験しなかった者について行う試験

- ・再試験の満点は 60 点とする。

☆臨地・臨床実習における合格基準

- ・臨地・臨床実習先の指導者による評価、提出したレポート、出席状況等を総合的に評価する。
- ・五段階評価：「秀」（90 点以上）、「優」（80 点以上 89 点以下）、「良」（70 点以上 79 点以下）、「可」（60 点以上 69 点以下）および「不可」（59 点以下）
- ・「秀」、「優」、「良」及び「可」を合格とし、「不可」を不合格とする。

※以下により GPA を算出して成績管理と学習指導を行っている。



GPA による成績分布の例

☆成績評価の通知

- ・学生本人に、年度末に当該年度における成績及び主席状況について評価表を作成して通知している。

☆学生指導への活用

- ・半期ごとに GPA を算出し、GPA が 2.5 未満の学生に対してはクラス担任による個別面談を、また 2.0 未満の学生に対してはクラス担任と教務主任による個別面談、個別指導を実施している。

卒業・進級の認定基準

(概要)

択必修分野については 3 年間で 7 単位以上)

※以下の各分野における授業科目をすべて履修し、単位を修得した者について卒業を認める。(選択必修分野については 3 年間で 7 単位以上)

- ・基礎分野 10 単位 (155 単位時間)
- ・専門基礎分野 22 単位 (330 単位時間)
- ・専門分野 55 単位 (1,690 単位時間)
- ・選択必修分野 7 単位 (105 単位時間)
- 計 94 単位 (2,280 単位時間)

学修支援等 (概要) ※家計困窮者に対する奨学金制度 ※ひとり親家庭(親又は子)及び夜間部入学者に対する奨学金制度
--

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	0人 (0%)	14人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ・歯科医院、歯科関係企業			
(就職指導内容) ・求人票の見方、履歴書の書き方、面接等の指導 ・一般的な社会人マナーの講義 ・就職説明会			
(主な学修成果(資格・検定等)) ・歯科衛生士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45人	2人	4.4%
(中途退学の主な理由) ・病気、家庭の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・学生の状況を担任が定期的に確認し、教員全体で情報を共有の上、複数の教員にて対応している。 ・学生との面談や保護者への連絡等をこまめに行っている。 ・面談等の学生への対応内容はその都度学生対応記録帳に記録し、学生状況及び指導の結果は学校内の会議にて報告・共有している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
歯科衛生士 学科 (昼)	200,000 円	500,000 円	350,000 円	
歯科衛生士 学科 (夜)	200,000 円	400,000 円	300,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
※家計困窮者に対する奨学金制度				
※ひとり親家庭 (親又は子) 及び夜間部入学者に対する奨学金制度				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.hokkaido-shikaeiseishi.ac.jp/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 本校は、「学校教育法」および「専修学校における職業実践専門課程の認定に関する規定」に則り、教育の質保証・向上を図り、また社会に対する説明責任を然るべく果たしていく観点から、自己評価および学校関係者評価を適切に実施することとする。 学校関係者評価委員会においては、学校運営や教育活動に関する成果や課題を、本校と関係の深い外部評価委員と共有し、それらについての評価や助言を求めるものとし、本校はこの対話を通じて、自己評価の結果の客観性と透明性を高めるとともに、教育の質の向上と学校運営の改善の取り組みをより一層推進するものとする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
天使大学・教授	令和3年4月1日 ～令和5年3月31日	教育に関し知見を有する者
医大前歯科診療所・院長	令和3年4月1日 ～令和5年3月31日	関連業界等関係者
医療法人仁友会 日之出歯科診療所 歯科衛生士長	令和3年4月1日 ～令和5年3月31日	関連業界等関係者
医療法人仁友会 日之出歯科真駒内 診療所 歯科衛生士長	令和3年4月1日 ～令和5年3月31日	関連業界等関係者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.hokkaido-shikaeiseishi.ac.jp/disclosure/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.hokkaido-shikaeiseishi.ac.jp/disclosure/
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	北海道歯科衛生士専門学校
設置者名	岸野 雅方

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		13人	13人	14人
内 訳	第Ⅰ区分	-人	-人	
	第Ⅱ区分	-人	-人	
	第Ⅲ区分	-人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				14人
(備考) 自主退学により支援が終了した者：1名（9/30 退学）				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。